

## 「筑肥線(伊万里～唐津)活用に関する検討会」 における 2023年度の取り組みについて

### 1. 検討会の取り組み概要

筑肥線(伊万里～唐津)を持続可能な線区とするための活用策を検討・実行し、多くの方々に選ばれる交通手段とすることを目的として、2023年度は「筑肥線活用に関する検討会」を計3回開催しました。

本検討会では、筑肥線のご利用実態に関する情報共有や、ご利用いただくための活用策の検討およびそれらを各主体で実施した結果、多くの方々にご参加いただきました。

### 2. 出席者

唐津市、伊万里市、佐賀県、国土交通省九州運輸局、九州旅客鉄道株式会社

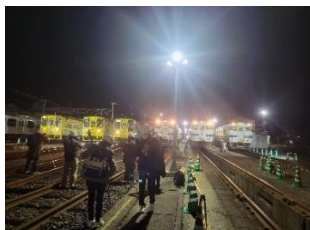
### 3. 実施した主な線区活用策

#### ロマンシング佐賀の取り組み

佐賀県と人気ゲーム「サガ」シリーズを展開する株式会社スクウェア・エニックスとコラボした「ロマ佐賀列車」を活用し、以下の取り組みを実施することで、筑肥線の利用促進と周辺観光地への周遊促進等を図りました。

(主な取り組み)

- ・「スタート割！ロマ佐賀列車 周遊きっぷ」の発売  
発売期間：2023.12.15～2024.1.14  
発売実績：316 枚
- ・オリジナル駅名標の設置  
(上伊万里～肥前久保間の9駅)
- ・オリジナル駅名標ガチャの設置
- ・伊万里駅等のラッピング装飾
- ・ロマ佐賀列車オリジナルリングノートのプレゼント
- ・「ロマンシング佐賀列車大集結ナイトツアーin 唐津車両センター」 等



#### マイレール意識の醸成

筑肥線沿線の小学校へ駅壁画の制作を依頼するなど、地域のみなさまと連携して駅の賑わいを創出するとともに、鉄道を大切に思う沿線の気持ちを発信しました。また、伊万里市内の小中学生を対象に、鉄道に関する絵画コンクールを実施しました。表彰と記念品の贈呈を行い、作品への応募を通じて、沿線の子どもたちのマイレール意識の醸成を図りました。

総応募数：117 点※

※筑肥線と松浦鉄道合計



#### 地域イベントでの鉄道 PR 活動

10 月に開催された「いまり秋祭り」などのイベントにおいて、主催者と連携して「こども用駅長制服体験会」や「ミニトレインの運行」等を実施することで、沿線地域に向けた鉄道の魅力発信を行いました。イベントに合わせて列車を増結することで、イベント誘客による筑肥線の利用促進を図りました。



## 全体

この他にも、以下の取り組みを実施し、全11件の活用策全体の参加者等は約 1,100 名(うち JR 利用者約 800 名※)でした。

- ・沿線住民や学生へのチラシ配布による鉄道利用の促進
- ・鉄道を利用した通勤・通学の推進
- ・遠足等の行事で鉄道を利用する保育所等への支援
- ・鉄道の利活用促進事業を行う地域団体等への支援
- ・公式 SNS による情報発信

※筑肥線以外の他線区をご利用のお客さま数も含む



参考:沿線住民に配布したチラシ

## 4. 2024 年度に実施予定の主な線区活用策

今年度は以下の活用策の実施を予定しています。引き続き、筑肥線の更なる活性化にご協力をお願いします。

- ・チラシ配布による鉄道利用の推奨
- ・筑肥線絵画コンクール、駅壁画の制作
- ・駅周辺での記念イベント開催等への支援
- ・遠足等の行事で鉄道を利用する保育所等への支援
- ・鉄道の利活用促進事業を行う地域団体等への支援
- ・ロマ佐賀列車を活用した利用促進キャンペーン
- ・SNS を活用した沿線の魅力発信
- ・沿線の魅力を活かした企画列車や団体向け臨時列車の計画